

教職論(小学校)

1. 担当教員

名前: 牛渡 淳(うしわた じゅん)

2. 授業の目的

(1) 授業の目的

「教師」とはどのような職業なのか。長い間学校で接してきた「教師」という仕事を、改めてひとつの「職業」としてとらえ、教師という職業の魅力を明らかにすると同時に、教師に関わる専門的知識を身につけることを目的とする。具体的には、教師像の歴史や学校組織の特質、教師としての成長や学び、現代の教師の職務内容と課題等を明らかにする。

(2) 到達目標

- ① 教師という職業の歴史と概要及び魅力を理解する。
- ② 教師の仕事場である学校の組織と経営、及び教師の成長を支える仕組みについて理解する。
- ③ 教師に関わる現代の教育政策や労働市場の中での教師について理解する。

(3) ディプロマ・ポリシーとの関連

本科目は、人間発達学科のディプロマ・ポリシー「1.演習、卒業研究だけでなく、人間科学としての教育学研究の基礎を身につけること」に基づき、教師と教職に関する基本的知識の獲得を目指す科目である。

3. 授業の概要

①教職観の歴史と教師に期待される役割、②学校の組織・経営と教師の職務内容、③教師としての成長とそれを支援するしくみ、④労働市場の中の教師、⑤現代の教育課題と教師、に焦点を当てて概説する。

4. 授業の受け方・勉強の仕方

(1) 予習の仕方

テキストは使わず、毎回プリントを配布して説明するため、特に指定された場合を除き、予習は必要ない。主として復習に力を入れてほしい。

(2) 授業の受け方

授業はプリントを使用しながら、その説明を中心に授業を進める。授業の最期 15 分で、全員に一人ずつコメント(意見、感想、質問)をいってもらい、それに対して担当教員が答える形で、授業内容の補足とまとめを行う。板書内容は必ずノートに書き留めておくこと。

(3) 復習の仕方

授業の復習は、忘れないうちに、配布されたプリントと板書内容を読み直し、ノートを整理しておくこと。質問があれば、次回の授業で質問すること。

5. 受講にあたってのルール

- (1) 欠席は5回まで認める。それを超えた場合は、テストを受けることができず、単位を取得すること

ができない。

(2) テストにおいての不正行為は厳禁。

6. 授業計画

回	月日	テーマ・内容	予習・復習	備考
1		教師像の再検討(1)あなたが出会った「先生方」 －1日観察実習を振り返って－	<予習>1日観察実習で 出会った先生方や自 分がこれまで出会っ てきた先生方の特色 についてあらかじめ 考えておくこと。	
2		教師像の再検討(2)映像に見る教師像－映画『二 十四の瞳』について－		授業の前に、別に時間 をとり全員でDVDを 鑑賞する。その上で、 授業においてプリン トを配布し、映画に見 られた教師像につい て説明する。
3		教師像の再検討(3)教師像の歴史的変遷と教師 の活動①		
4		教師像の再検討(3)教師像の歴史的変遷と教師 の活動②		
5		教師像の再検討(3)教師像の歴史的変遷と教師 の活動③		
6		学校の特質と教師の職務内容(1)学校の組織と 経営		
7		学校の特質と教師の職務内容(2)学校の組織 と経営(続き)		
8		学校の特質と教師の職務内容(3)学級の組織と 経営		
9		子どもの学びを支える人(1)子どもたちが「学校」 で出会う人①		
10		子どもの学びを支える人(2)子どもたちが「学 校」で出会う人②		
11		子どもの学びを支える人(3)こどもたちの「放課 後」に出会う人/教師に求められる視野		
12		改めて教師の魅力とは?－斎藤喜博の仕事を通 して学ぶ－(1)		
13		改めて教師の魅力とは?－斎藤喜博の仕事を通 して学ぶ－(2)		
14		労働市場の中の教職(1)		
15		労働市場の中の教職(2)		
16		定期試験		

※ 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

7. 評価方法

- (1) 試験(90%)…定期試験
- (2) 受講態度(10%)…授業内での発言

8. 参考図書・文献

・岩田康之・高野和子編『教職論』(学文社)

- ・牛渡淳編『改定 初めて学ぶ教育の制度・行政・経営論』(金港堂)
- ・『最新教育基本用語』(小学館)

9. 履修上の注意

- (1) 小学校教諭免許状を希望する学生は必ず履修すること。
- (2) 特別な配慮を要する学生は事前に申し出ること。